

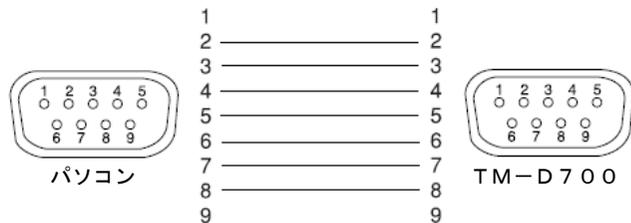
◆ PCとの接続 ◆

・TM-D700とPCの接続には、RS232Cのストレートケーブルを使用します。
TM-D700のメインユニットの正面パネルにDsub9ピンの雄コネクタがあります。

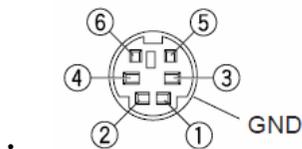
【備考】

・コネクタ接続の前にTM-D700の電源をOFFにしてください。

端子番号	端子名称 (パソコン)	機能 (TM-D700)
1	DCD	—
2	RXD	送信データ
3	TXD	受信データ
4	DTR	接続状態
5	GND	信号グランド
6	DSR	通信可能状態
7	RTS	受信可
8	CTS	送信可
9	RI	—



・外部TNCをTM-D700に接続するためにはオプションのPG-5Aケーブルを使用して下さい。データ用コネクタはメインユニットの正面パネルの6ピンのミニDinプラグです。



端子番号	信号名	機能
1	PKD	パケットデータ入力 ・TNCからTM-D700への送信データ
2	DE	PKD用グランド
3	PKS	パケットスタンバイ ・TNCはこの端子をTM-D700のマイク入力の抑制に使用することが出来る
4	PR9	検波された9600bpsデータの出力 (500mVp-p, 10Kohm) ・1200bpsと9600bpsの共通データ出力ピンとしても機能する
5	PR1	検波された1200bpsデータの出力 (500mVp-p, 10Kohm)
6	SQC	スケルチ制御出力 ・TM-D700のスケルチが開いている間TNCのデータ送信を抑制させる為の信号出力。 ・同一周波数上の音声通信などへの妨害を防ぐ また再送を防ぐ スケルチ開時 +5V(High) スケルチ閉時 0V(Low)

【備考】

- ・もし外部TNCが1200bpsと9600bpsの共通データ入力ピンを持っている場合は、このピンをデータコネクタのPR9に接続します。
PR9とPR1を短絡させると、TNCが誤動作する可能性があります。
- ・DC電圧がPR1ピンに印加されている場合、外部TNCは動作しないかもしれません。もしこの問題が発生する場合は、PR1ピンとTNC間に10 μ Fのコンデンサを挿入してください。